

リカちゃん人形の首

ゆきや (2019. 03. 06)

リカちゃん人形の首がちぎれました。
写真(右)の様な惨状です。
首の破片は、頭の内部に落ち込んでいたのを、
ソルダールアシストの鉤爪で引き出しました。
(畳の上に寝そべて、上を向いて作業すると、
取り出しやすい事があります)

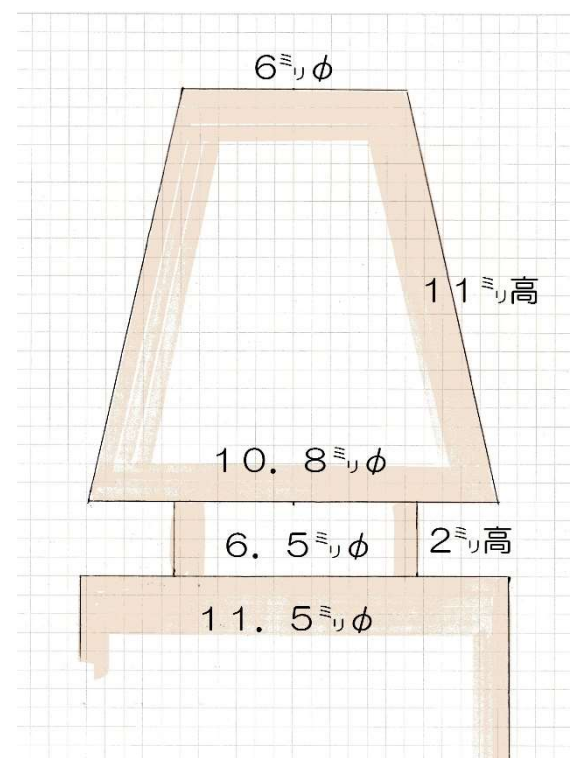
首の先端は、矢印形のホゾになっていて、
頭部にはまって、抜けないように、作られています。

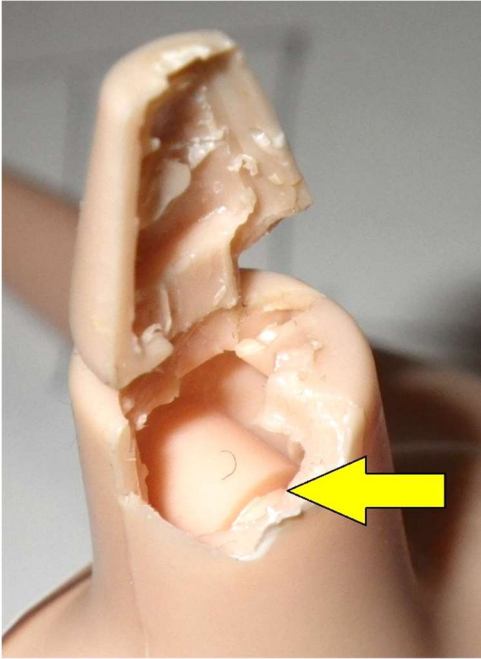
リカちゃんの頭の復元には、このような形を作って、
それを首の先にしっかり取り付ける必要があります。

木の丸棒から削り出す事も考えましたが、今回は、
幸いにも、背中側の破片が、このように大きなまま
残っていたので、これを活かす事にしました。

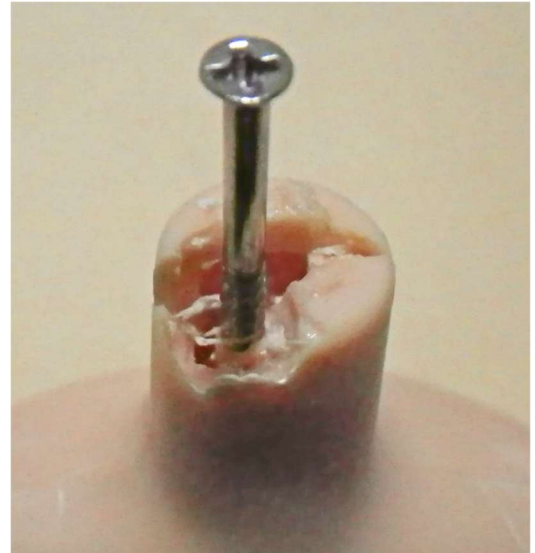
破片を首の先に仮止めしてみます。(下写真)
背中側はこれで、大きな被害はないようです。
折角の機会なので、寸法を採ってみました。
右の略図です。

頭の方の素材は、或る程度の柔軟性があるので、
首のホゾのサイズは、若干アバウトでも大丈夫そうです。





問題は、このホゾをどう固定するかです。
首の内部には、前後をつなぐ太い「骨」
(左写真 黄矢印)があります。
この骨を土台にする事にしました。



普通の木ねじでは太すぎるので、
ホームセンターで手に入る最も細い
コーススレッドを使いました。(右写真)
大工さんが、木材にドリルでねじ込む木ネジの
最小型、長さ24mm、φ2mmのものです。

「型取くん」で背中側の型を取り(右写真)、
胸側に反転、
コーススレッドを芯にして、レジン
を流し込みます。
レジンが透明なため、
分かりにくいかもしれませんが、
矢印形のホゾが、
コーススレッドを囲んで、
首に
しっかりと固定されています。
(下写真)
首の傷んだ所にもレジンが入っています。



最後に、背中側の破片を接着、
整形して、ホゾを完成。
グリースをちょっと塗って、
頭にはめ込みました。

